平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ３１ ※記入不要	提案機関名	横浜川崎地域農業改良普及センター

要望問題　花木の早期開花技術の開発

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

背景
　花木鉢物の需要は母の日を中心にあるが、その中にスモークツリーの鉢物を出荷したいと考えている。しかし通常開花ではスモークツリーは５月下旬～６月中旬の開花となり、母の日に間に合わない。そこで、開花促進技術の開発が望まれている。

内容
　促成栽培（無加温ハウス）によるスモークツリー各品種の開花促進技術の開発

対象地域及び規模
　横浜市および川崎市　　約 10 戸

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：生産技術部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
作物の生理・生態特性の解明に基づく低コスト栽培技術の確立

対応の内容等
　スモークツリー数品種について、簡易密閉ビニールハウス内にて萌芽前から管理を行い、開花時期及び毛じの伸長時期の前進について検討します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考